

平成 29 年度 WEC 応用生態研究助成 審査結果

平成 29 年度 WEC 応用生態研究助成の募集に 24 件のご応募をいただきました。

今年度の応募においては、指定課題を「ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究」と「ダム貯水池や下流河川の生態系に係わる土砂動態に関する研究」としました。ダム湖や周辺の水質や土砂、生物などに関してなど、多くの研究の応募をいただきました。

採択の審査にあたっては外部審査委員による審査委員会を開催しました。審査委員会においては、新規性、ダム管理にとっての重要性、結果の応用性・現場への適用性、研究の実現性等の観点から、申請された研究課題について評価を行いました。特に、既存の研究を踏まえ新たな視点が見られるか、結果がダム管理の現場に汎用的かつ現実的に適用される見込みがあるかといった点が議論の中心になりました。厳正なる審査の結果、下記の 5 件を助成研究として採択することになりました。

採択された研究が良い成果を上げることを期待します。

平成 29 年度 WEC 応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2017-01	砂防堰堤堆積土砂の排砂が下流河川の水質、河道地形及び生態系に与える影響の評価	巖島 怜	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター	2
2017-02	ミサゴの生息数が内陸部で増えているのはなぜか？ -生息地としての内陸部のダム湖や河川の適性評価-	榊原 貴之	岩手大学農学部共生環境課	2
2017-03	生態化学量論から考えるダム湖からの栄養供給が下流食物網に与える影響	土居 秀幸	兵庫県立大学大学院 シミュレーション学研究科	2
2017-04	ダム貯水池における侵略的外来魚オオクチバスの繁殖抑制手法としての人工産卵装置の技術開発	中井 克樹	滋賀県立琵琶湖博物館 研究部	2
2017-05	御嶽山噴火により攪乱されたダム湖流入河川の水質変遷と河川生物の応答関係の把握	松本 嘉孝	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科	2

また、平成 28 年度に 2 年研究として採択された下記 2 件については、今年度研究を継続することになりました。研究がより進展することを期待します。

平成 29 年度 WEC 応用生態研究助成 継続決定研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2016-02	ダム下流の河川環境と生態系、衰えゆく周辺地域の社会経済を再生する柔軟な手法の確立	吉岡 秀和	島根大学生物資源科学部 地域環境科学科	2
2016-03	ダム下流の河道攪乱を目的とした砂州の発達を促す置き土手法の確立	渡邊 康玄	北見工業大学工学部 社会環境工学科	2